



寒暖の変動の激しい今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか。法学類月報第 39 号では、年度末を以って金沢大学を退職される齊藤高広先生のエッセイ、法学類特別講演会の模様、エジンバラ法律英語研修についての特報をお届けします。



◆◆教員エッセイ◆◆

第 6 回 齊藤高広先生（経済法）

◆景品競争の意義と限界 —退職に寄せて—

本年度の最終講義では、学生から募った質問に回答する質問大会を実施した。直前に公正取引委員会中部事務所の方による特別講演会を開催したせい、商品取引に付随する景品規制の質問が並んだ。関心が高いのが、くじや偶然性に左右される「懸賞」の取扱いである。特定景品を入手できるかは誰にも分からない。これを法的にどう評価するか。

おまけ競争が激化すると、どれだけ景品に資本を注げるかという体力勝負になり、肝心の本体商品に係る品質や価格競争が疎かになる。詰まるところ、正当なビジネス手段として許容し、面白みのある寛容な社会を選択するか、あるいは、努力・誠実・勤勉などの価値観を尊重し、射幸心を懸念して規制強化すべきか、という判断になる。議論が盛り上がるのは、受講生がまもなく自身の人生観や価値観を問われる重大な自己決定を控えているからだろう。

私事ではあるが、このたび、たまたま生活拠点を移すこととなった。一貫性や正当性のほか実現可能性や手続保障の考察まで求められる法学系は、その場の雰囲気が支配的になりつつある今日、敬遠されがちだ。「授業本体ではなく、雑談の方は面白いのに」という学生アンケートを善意に解して、おまけ競争にも個人的には力を注ぎつつ、お世話になったスタッフとともに、引き続き、法学研究と教育という本体競争にも勤しんでいきたい。

(平成 29 年 4 月より南山大学法学部に異動)

Current News

最近の出来事から

法学類特別講演会開催

「薬物依存からの回復 ～富山ダルクとかなざわHARPの挑戦～」

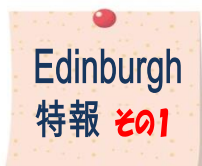
2月3日(金)、西念奈津江先生(精神保健福祉士・かなざわHARP)と林敦也先生(富山ダルク)に来ていただき、薬物依存の回復に向けた取り組みについて講演をいただいた。学生のみならず、他学類の先生も含め35名もの人が集まり、大盛況であった。西念先生からは、いったん薬物に「依存する」と、意思の力では薬物に勝てない状況に陥り、

「がんばれ」という励ましは最も無意味であることが説明された。薬物依存は「病気」であるという認識を前提とし、回復のためには、「本当はだめかもしれない」という言葉を受止めてもらえる環境が必要であること、また、一緒に歩んでいく仲間が必要であるとのことであった。

林先生のお話は、とても迫力のあるものであった。中学生のころに、先輩からの勧めを断り切れずに始まった薬物使用が、徐々に依存へと移行していき、幻聴や幻覚が見え、何度も精神病院に入院したが回復には至らなかったこと、周りの仲間が薬物でどんどん亡くなっていく現状を目の当たりにしてきたこと、そして、ダルクでの生活や今の自分の状況などを語っていただいた。

薬物依存に対して我々が持つ漠然とした「怖い」イメージから、一歩脱却し、依存とは何か、回復のためには周りのサポートや理解がどれほど重要か、を実感できる濃い 90 分であった。

大貝葵（法学類准教授）



エジンバラ大学法律英語研修が始まりました

今年度から、エジンバラ大学の協力を得て、法学類学生・法学系の大学院生を対象とした法律英語研修が開催されることになりました。この研修は単なる英語研修ではなく、法律英語に特化しており、法学の専門知識を生かしながら英語も駆使できる人材の育成を目指しているものです。



初めてとなる今年は、12名の第1期生が2月20日からのエジンバラ大学での現地研修に向けて秋から準備を行っています。事前研修では、東川先生によるイギリス法の特別講義の他、イギリス人弁護士による英国法制度についての英語講演や国際基幹教育院所属のイギリス人講師によるスコットランド・エジンバラについての講義と英語によるディスカッションなど、多様な活動に取り組んでいます。当初は戸惑いやためらいも見られた参加者ですが、徐々に打ち解け、英語で意見を交換できるようになってきました。

この月報が発行される際には、第1期生はちょうどエジンバラで勉強しているところです。3週間のホームステイと英語研修を通して大きく成長すると思います。来年度以降もこの研修は続く予定です。多くの学生の参加を期待しています。

羽賀由利子（法学類准教授）

貿易実務検定 B 級合格者輩出！



法学類4年生の山根拓也さん、村田光さんが貿易実務検定 B 級に合格しました。「貿易業務の中堅層」レベルと評価されているこの級の合格者が、本学から出たことは大変喜ばしいです。他の学生さんも後に続いてくれることを期待します。

法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。